

地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体 (市町村名)	釧路市
----------------	-----

1 地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生 プロジェクト名	くしろ木づなプロジェクト		実施 期間	平成23年度～平成24年度	事業 区分	新規・継続 2年計画のうち1年目
実施主体	市町村名：釧路市 民間団体名：					計 1 市町村 団体
格差の分野	地域経済の格差					
地域再生 プロジェクトの 目標	<p>(地域の現状)</p> <p>◆豊富な森林資源と都市機能が近接する優位性があるものの、域内での高付加価値化は遅れている。</p> <p>(地域の課題)</p> <p>◆地域材の地産地消の促進</p> <p>◆地域材の地域内での高付加価値化</p> <p>(プロジェクトの目標)</p> <p>◆地域の木材を地域内で高次加工する体制整備</p>					
取組の成果	目標の 達成度	設定目標（項目）	現状値 (平成21年) ※計画段階の最新統計	支援期間終了後の成果目標 (平成24年)	左記の目標に対する現時点の 達成状況（平成22年） ※現段階の最新統計	
		木材・木製品製造業従業員の減少ストップ	109人	121人	121人	
	具体的 な効果	川上から川下が一体となった産業連携が進みつつある（民間独自の取り組み「くしろ・ねむろ木づなの家協議会」の発足）。また、林業・木材産業関係者の地域材に対する知識、地域材利活用に対する姿勢に前進が見られる。				
	計画の 達成度	森林資源調査が冬期にずれ込み時間を要したが、最終的には計画通りの成果を得ることができた。その他の分野についてはおおむね計画どおりに推進することができた。				
住民等 の評価	プロジェクト開始以前から、地域の関係者を巻き込んだ取り組みを行っているため、森林を活用した地域産業の活性化については住民等の一定の理解が得られている。					
プロジェクト推進 上の課題・問題点	<p>(課題・問題点等)</p> <p>過去の森林整備の遅れによる林況・木質資源の劣化は否めないが、それを前提とした取組を進めなければならない。</p> <p>(課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の推進と釧路材の有効活用の両立を図る。 ・円卓会議における意見交換のさらなる活性化を図る。 					

2 地域再生プロジェクトの構成事業

(1) 実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
1	もっと知るくしろの木	森林資源や流通実態の現状把握を行うための調査と情報共有	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 林分調査 ■ 品質調査 ■ 流通調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS機器の購入と林分調査による市有林の資源状況把握 ・打撃音測定による市有林材強度試験 ・森林資源のエネルギー利用方策を検討するための燃焼試験 ・林地残材流通コスト調査 	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有林資源データの集積が進んだ。 ・釧路産森林資源の性能を数値化することができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私有林に調査範囲を拡大する必要がある。 ・一般材の流通コストについて詳細な分析が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林については、今回の集積データを踏まえ、長期経営方針・効率的な施業体系づくりの検討を行う。 ・私有林については所有者の理解を得ながら資源調査を進める。 ・一般材の流通形態、コスト等の分析を進める。
2	もっと使うくしろの木	地域材の付加価値を高めるための新規利用方法の検討	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラマツカウハッチの作成（生後0～2か月の子牛用） ・カラマツフローリングの作成 ・学校机用カラマツ天板の作成 ・木質ボイラー見学 	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラマツの新規用途開拓に対する民間事業者の意欲を刺激することができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の発案をベースに、昨年取り組むことができなかった分野（エクステリア等）を中心とした商品開発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラマツ材の商品開発（インテリア・エクステリア部材、木のおもちゃ、木製簡易防災シエルター等）
3	もっと伝えるくしろの木と技	地域材継続利用のための人材育成と、エンドユーザーへのPR	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材育成研修 ■ 普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修会の開催（計4回：乾燥技術・木材強度・遮音性能・木材塗装） ・木造建築マップの作成 ・イベント出展（釧路遊びの祭典『子供フレンドパーク2012』） ・FMラジオ放送 	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識の普及により、民間事業者が持っている、木材利用に対する不安を一定程度取り去ることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より専門的な研修会を行う必要がある。 ・一般市民に対するPRがもっと必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成研修会（上級）の開催 ・イベント出展 ・地域材利用PR用の報告書（一般・専門向け）の作成

※「地域再生プロジェクト計画書」（別記第1号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第3号様式）の記載との整合に留意すること

(2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 充当額 (充当要望額)	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	もっと知る くしろの木 釧路市	H23 ～ H24	全 体 計 画	5,505				3,743	1,762			5,505
			平成23年度	2,505				1,743	762			2,505
			平成24年度	3,000				2,000	1,000			3,000
2	もっと使う くしろの木 釧路市	H23 ～ H24	全 体 計 画	3,949				2,749	1,200			3,949
			平成23年度	949				749	200			949
			平成24年度	3,000				2,000	1,000			3,000
3	もっと伝える くしろの木と技 釧路市	H23 ～ H24	全 体 計 画	6,547				1,000	5,547			6,546
			平成23年度	2,547				0	2,547			2,546
			平成24年度	4,000				1,000	3,000			4,000
4			全 体 計 画									
			平成〇〇年度									
			平成〇〇年度									
5			全 体 計 画									
			平成〇〇年度									
			平成〇〇年度									
計	事業数[3]	H23 ～ H24	全 体 計 画	16,001				7,942	8,509			16,000
			平成23年度	6,001				2,492	3,509			6,000
			平成24年度	10,000				5,000	5,000			10,000

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」(別記第2号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること